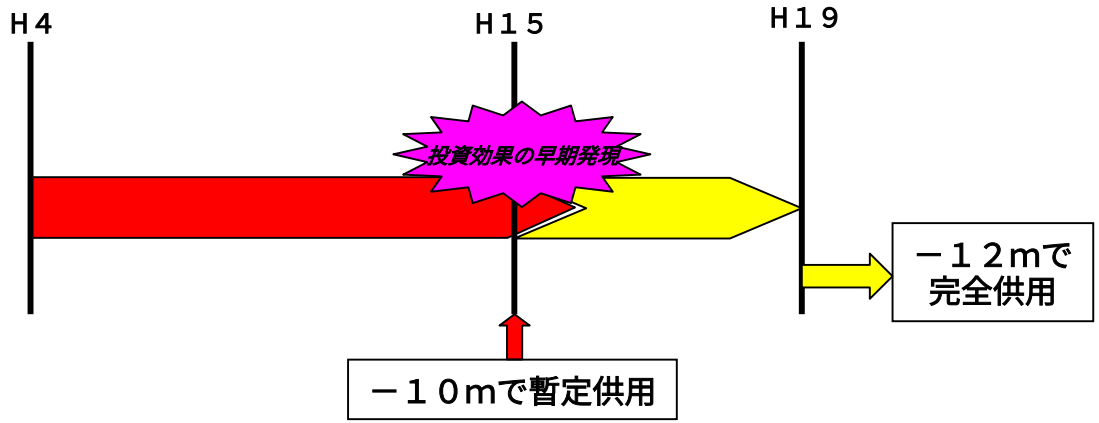
「公共事業コスト縮減対策に関する新行動指針」
【 施策名：（２）工事の時間的コストの低減 】

段階的整備による暫定機能の早期発現を図る

施設名：三河港　神野ふ頭地区　岸壁（－１２m）
概　要：投資の重点化による投資効果の早期発現。

効　果

●岸壁前面の泊地(-１２m)は平成１９年度の完成をめざして整備をすすめていたが、他事業の埋立事業との連携によりコスト縮減が図られ、重点投資が可能となり、水深-１０mで平成１５年度に暫定供用することとした。
平成１９年度供用　→　平成１５年度暫定供用（４年早めて供用）
【早期供用によるコスト縮減額：９１百万円】